



瓊浦高等学校 学校通信 第 165 号

令和8年6月5日発行 電話 095-826-1261

FAX 095-820-5245



吹奏楽部マーチングに挑戦!

5月3日(日)シーハットおおむらで行われた「第9回NAGASAKI ブラス&マーチングフェスティバル」に本校吹奏楽部が出演しました。昨年に引き続き2回目の出演になりますが、今年は初めてマーチングにも挑戦をしました。本番ではたくさんのお客様に拍手をいただき、嬉しい気持ちでいっぱいです。

本番の様子が、5月31日(日)にNBCで放送されました。見逃した方は再放送があることを祈りましょう。これからの吹奏楽部の活躍から目が離せません。



ファッションショー開催

6月2日(火)6校時、総体3階で全校集会が開かれ、その中で制服パーカーのファッションショーが行われました。パーカーを制服のオプションとして採用するかどうかの第1歩です。

生徒からの要望で動き出したこの企画。生徒会の生徒たちが中心となり、ファッションショーを展開してくれました。



6月の主な行事

- | | |
|-----|-----------------|
| 3日 | 振替休日(6/6) |
| 4日 | 高総体推戴式(午後) |
| 5日 | 高総体開会式(大村) |
| 6日 | 高総体(～9日) |
| 10日 | 振替休日(6/7) |
| 11日 | 高総体報告会(7校時) |
| 12日 | 第2回実力考査(3年) |
| 15日 | 企業説明会(～19日) |
| 16日 | 歯科検診(～17日) |
| 21日 | 全商ビジネス計算実務検定 |
| 22日 | 期末試験時間割発表 |
| 25日 | 創立記念日 |
| 27日 | 第1回オープンスクール(本校) |
| 28日 | 全商簿記実務検定 |
| 29日 | 期末試験(～7月2日) |

瓊浦の窓

瓊浦ファミリーで生み出す絆の物語

副校長 畑野 公昭

朝の食事時の「たまごかけごはん」は、日本の食卓で見慣れた風景です。手順はいろいろあるでしょうが、①卵を割る、②醤油等をまわしかける、③卵を溶く、④ごはんにかけて混ぜ合わせる、⑤完成したこがね色のご飯がどんな味かワクワクしながら食べるという一連の流れは、ごく自然なことでしょう。避けて通れない通過儀礼は生卵が割れるようになることですが、それも、箸を使えるようになるのと同じくらい力の加減をいつの間にか覚え、割るのはまさに「朝飯前」になっています。

3年生の文学国語で扱っている河野裕子さんの「クルミの小部屋」というエッセイの中に、その生卵を割れないお父さんが出てきます。「えっ、いい大人が生卵を割ることができないの!」とびっくりしますよね。しかもそのお父さん(細胞生物学者で歌人)、卵を割ることを自分で依頼できずモソモソしているし、割れない理由を自分からは喋りません。そのようなお父さんに家族がどう接したかが、このエッセイの読みどころです。

妻と娘は、お父さんがなぜ卵を割れないのかをあえて聞かず(妻は夫と知り合って20年も!)、家族のだれかがそっと手をのばして「トントンパチン」と卵を割り、「いつのまにかお父さんも茶碗をカチャカチャ鳴らしながら」、一緒に卵ごはんを食べている様子が描かれます。そこには、「家族だから、お互いにばかしをかけてつきあっている部分」があり、「気づかいても、思いやりとも、またひと味がう何か微妙な心の動き」が働いているといいます。近い存在だからこそ、気恥ずかしくて自分で言いたくないことにはあえて触れず、できないことを労わり、自然なふるまいで支え合うという、家族が平穏に過ごすための妙法が伝わってきます。

これはひょっとしたら少し風変わりな家族の様子かもしれません。しかし、本校も「瓊浦ファミリー」というからには、何かこの家族と相通じるものがあるかもしれません。世の中を見渡してみると、この家族とは逆に、触れてほしくない人の心の中に無神経に入りこむ、思ったことをすぐに言葉にして相手を傷つける、相手の弱みをわざわざさらして可笑しがる、それをSNSで増幅する…といった例が後を絶ちません。まことに憂うべき事態です。瓊浦ファミリーはやはり、その逆サイドにいたいものです。もちろん誤って人を傷つけたりすることはあるでしょう。修復のための魔法(?)の言葉は「ごめんなさい」の一言。そこを起点として人は関係を強めていくものです。これから県高総体を迎え、お互いの絆の力をより強くしていく時期となります。瓊浦ファミリーのなかで、周囲や相手を支えていく物語がさまざまに生まれることを期待しています。

春季大会の戦績(続き)

【卓球部】

○ダブルス

準優勝 早野(普2D)・福島(普1D)
3位 大見(普3A)・前川(普3D)
3位 宮島(普2D)・謝(普2D)
ベスト16 辻(普1D)・中野(普1D)

○シングルス

優勝 宮島(普2D)
準優勝 謝(普2D)
ベスト8 前川(普3D)、福島(普1D)
ベスト16 辻(普1D)

1年生全員の今後が非常に楽しみとなる結果でした。ダブルスは残念ながら優勝することができませんでした。
高総体に向けて課題を克服して優勝できるように頑張っていきます。

その他の大会の戦績

【空手道部】

第63回長崎県空手道選手権大会

○女子個人組手

第2位 大曲(普3C)

○男子個人組手

第3位 中村(機3A)

今大会で見つけた課題を克服し、最終調整を行って高総体に臨みます。

【水泳部】

長崎市春季水泳大会

男子

50M背泳ぎ 2位 村田(普1A)
50M平泳ぎ 1位 浜田(普3D)

200M個人メドレー 3位 國實(機1B)
100M平泳ぎ 2位 高比良(普3D)
100Mバタフライ 3位 川口(機3A)

女子

50M背泳ぎ 3位 山口(普1A)
200M平泳ぎ 2位 若杉(普1C)
200Mバタフライ 1位 田添(普2C)

高総体前の調整的な意味合いが強い大会でしたが、全員が自己ベストを更新することができました。

(結果は入賞のみ、1人1回のみ記載)

【野球部】

第2回長崎県高等学校野球連盟会長杯地区予選

準優勝 (県大会進出)

1回戦 瓊浦 5対4 長崎北
2回戦 瓊浦 9対1 対馬
準決勝 瓊浦 5対4 長崎商業
決勝 瓊浦 1対6 海星



【陸上部】

2026年度 長崎県陸上選手権大会

男子

800M 第3位 山口(普3D) ※高校生トップ
第8位 平山(普3D)
100M 第5位 山本(情3A)
1500M 第7位 山口(普3D)

女子

5000M 第1位 小崎(情2A)

一般も出場するハイレベルな大会でした。
6位入賞者は、8月に宮崎で開催される九州選手権に出場できます。

各部の代表者から高総体の目標や意気込みなどを一言！

バスケットボール部 男子 機械科 3年A組 池田 一颯	今まで練習してきたことをすべて出し切り、絶対に 優勝 します。
バスケットボール部 女子 情ビ科 3年A組 島田 あおい	今までやってきたことを出し切って、県1位を倒すぞ！
バレーボール部 男子 機械科 3年A組 今井 青空	打倒 鎮西！！
バレーボール部 女子 情ビ科 2年A組 山下 夢那	ベスト8を目指し、チーム全員で1戦1戦全力で戦いぬきます。
ハンドボール部 男子 普通科 3年D組 安田 昇馬	インターハイ優勝 の第一歩として、1戦1戦大切にし、必ず 優勝 します。
ハンドボール部 女子 普通科 3年D組 境 花奈	今までの悔しさを糧に戦って、必ず 優勝旗 を持ち帰ります。
バドミントン部 男子 普通科 3年D組 村川 翔真	お世話になった先生、関係者の方々に 感謝 し、 優勝 目指して頑張ります。
バドミントン部 女子 普通科 2年C組 松添 優菜	団体戦では上位に残り、個人戦では1人ひとりがベストを出せるように頑張ります。
サッカー部 機械科 3年A組 西村 優人	日々の練習の成果をすべて出し、悔いの残らない大会にしていきたい。
空手道部 男子 普通科 3年A組 橋岡 楓	優勝 して インターハイ に出場できるように全力で頑張ります。
空手道部 女子 普通科 3年C組 大曲 瑠璃	1人1人が最後まで諦めず、全力で試合に臨み、 優勝 めざして頑張ります。
卓球部 普通科 2年D組 謝 博鋭	高総体の目標は7大会ぶりの 団体優勝 です。
剣道部 男子 普通科 3年A組 佐藤 颯太	全員で一本を繋ぎ、 上位大会への切符 を手にする。
剣道部 女子 普通科 2年A組 大浦 煌楽	これまで仲間と積み重ねてきた成果を発揮し、最後まで戦い抜きます。
水泳部 情ビ科 3年A組 川口 颯	全員 自己ベスト 出すぞ！！
陸上部 男子 普通科 3年B組 中野 湧	上位大会 出場と 自己記録更新 を目標に4日間走り抜きます。
陸上部 女子 普通科 3年A組 田中 伽奈	最後まで諦めず走り抜けます。
柔道部 男子 普通科 3年D組 吉井 優仁	団体・個人ともに 優勝 。
柔道部 女子 普通科 3年D組 小宗 結奈	目指せ！ ビッグホエール和歌山 。
ボクシング部 機械科 2年C組 江川 健士	仲間と共に県団体 優勝 、 インターハイ 出場を目指して頑張ります。
体操(個人参加) 機械科 3年A組 吉田 颯悠	インターハイ に行けるように実力を十二分に発揮し、頑張ります。